



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ



中国銀行

NEWS RELEASE

令和6年2月26日

株式会社 中国銀行

リコーリース株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンの取組みについて ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）では、「TSUBASAアライアンス」^{※1}で連携する千葉銀行（千葉県千葉市中央区千葉港1番2号 取締役頭取 米本 努）と滋賀銀行（滋賀県大津市浜町1番38号 取締役頭取 久保田 真也）とともに、2024年2月26日、リコーリース株式会社（代表取締役社長執行役員 中村 徳晴）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）を協調融資により実行しましたのでお知らせします。

SLLは、事業者さまがSDGs・ESG戦略に関する目標となるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）を設定し、その達成状況に応じて融資条件が変動する仕組みの融資制度です。

貸出先のリコーリース株式会社は、ベンダーリースを軸としたトランザクションデータの活用を通じた企業の成長機会に対する貢献と社会課題への解決を目指しています。さらに同社は事業を通じた取組みを推進することで脱炭素社会の実現に貢献しており、取組み加速に向け、自社のスコープ1, 2 ネットゼロ目標を2050年から2030年に前倒しすることを決定しました。

また、同社ではサステナビリティ経営を加速させるため、2022年12月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク^{※2}」を策定し、CDP気候変動スコア^{※3}において最高レベルである「リーダーシップレベル(AとA-)」を維持することをSPTに設定しました。本ローンは、本フレームワークにもとづく取組みとなります。

なお、本フレームワークの各原則、ガイドラインへの適合性については、株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオン^{※4}を取得しています。

当行では幅広い金融サービスの提供とコンサルティング機能の発揮を通じ、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

※1 中国銀行、第四北越銀行、千葉銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。（<https://tsubasa-al.co.jp>）

※2 https://www.r-lease.co.jp/assets/docs/sustainability_link_finance_framework.pdf

※3 世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表しているNGOが算出するスコアです。評価は、AとA-（リーダーシップレベル）、BとB-（マネジメントレベル）、CとC-（認識レベル）、DとD-（情報開示レベル）の8段階で付与されます。

※4 https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/12/news_release_suf_20221222_jpn.pdf

【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

貸 出 先	リコーリース株式会社
貸 出 金 融 機 関	中国銀行、千葉銀行、滋賀銀行（各行個別契約による協調融資）
実 行 日	2024年2月26日（月）
S P T	CDP気候変動スコアにおいてリーダーシップレベルを維持すること
第 三 者 意 見	株式会社格付投資情報センター
資 金 使 途	運転資金
貸 出 形 態	証書貸付

以 上